

富山県立図書館所蔵 金子幸代先生関連資料

著作

資料名	編・著者	出版者	出版年	請求記号	備考
井上靖	藤沢全	大空社	2005	910. 28-イヤ	「『井上靖シルクロード詩集』の詩と真実」所収
鷗外女性論集	金子幸代(編・解説)	不二出版	2006	918. 6-670	
鷗外と神奈川	金子幸代	神奈川新聞社	2004	910. 28-モオ	
鷗外とく女性>	金子幸代	大東出版社	1992	910. 28-モオ	
講座森鷗外 2 鷗外の作品	平川祐弘(ほか)	新曜社	1997	910. 28-モオ-2	「近代劇の誕生」所収
社会文学事典	社会文学事典刊行会	冬至書房	2007	910. 26-1135	著者として参加
『青鞥』を読む	日本文学協会新・フェミニズム批評の会	学芸書林	1998	367. 2-469	「『青鞥』の揺籃」所収
大逆事件に挑んだロマンチスト	平出修出版会	同時代社	1995	910. 28-ヒシ	「森鷗外と平出修」所収
太宰治研究 14 作品論特輯	山内祥史	和泉書院	2006	910. 28-タオ	「太宰治「男女同権」論」所収
明治女性文学論	新・フェミニズム批評の会	翰林書房	2007	910. 26-1167	「水泡の言葉を紡ぎ行く」所収
森鷗外論集歴史に聞く	酒井敏	新典社	2000	910. 28-モオ	「鷗外の女性論」所収

雑誌論文

論題	掲載雑誌	掲載号・頁	出版年	請求記号	備考
小寺(尾島)菊子と「女子文壇」・「青鞥」―埋もれた女性職業作家の復権に向けて	社会文学	29 p57-67	2009	T902-97	図書として受入
フェミニズムと現代女性文学―映像から考える桐野夏生の『魂萌え!』	富山大学人文学部紀要	50 p290-304	2009	905-17	
女性雑誌と職業―一九一〇年～一九一三年における「女子文壇」の文化史的研究(2)	富山大学人文学部紀要	49 p377-400	2008	905-17	共著:伊藤恵理
〈新しい女〉とは何か―一九一三年における「女子文壇」の文化史的研究	富山大学人文学部紀要	48 p140-164	2008	905-17	共著:中村真也
「自己」との決闘―森鷗外訳から太宰治の『女の決闘』へ	国文学 解釈と鑑賞	72(11) p129-133	2007	Z9-1	
富山 安倍能成『だいらの小屋』―青春の立山黒部縦走記	国文学 解釈と鑑賞	72(4) p117-120	2007	Z9-1	
森鷗外の近代劇邂逅―『ミカド』から『ドン・カルロス』へ	鷗外	80 p31-55	2007	910. 28-450	
日本近代劇再考(5)『玉篋兩浦嶼』と鷗外の「歌舞伎」	富山大学人文学部紀要	47 p198-216	2007	905-17	
愛読諸嬢の冒険―国際化と登山から見る「女子文壇」の研究	富山大学人文学部紀要	46 p241-266	2007	905-17	共著:中村真也
日本近代劇再考(4)『ブルムウラ』と鷗外の「歌舞伎」	富山大学人文学部紀要	45 p222-234	2006	905-17	

論題	掲載雑誌	掲載号・頁	出版年	請求記号	備考
日本近代劇再考(3)イプセン劇と鷗外の「歌舞伎」	富山大学人文学部 紀要	44 p87-98	2006	905-17	
日本近代劇再考(2)メーテルリンク『モンナ・ワナナ』と鷗外の「歌舞伎」	富山大学人文学部 紀要	43 p184-196	2005	905-17	
日本近代劇再考--『オセロ』上演と鷗外の「歌舞伎」	富山大学人文学部 紀要	42 p72-82	2005	905-17	
アカデミック世界のマイノリティ(14)大学におけるジェンダー---マイノリティからのポジティブ・アクション	科学	74(8) p1019-1021	2004	Z4-1	
「歌舞伎」の翻訳劇--明治40年から41年にかけて	鷗外	74 p79-98	2004	910. 28-450	
『人形の家』上演研究序説--「女子文壇」と「青鞥」を視座として	富山大学人文学部 紀要	40 p260-272	2004	905-17	
Gezwitscher 森鷗外『さえずり』(独訳)	鷗外	70 p195-205	2002	910. 28-450	
森鷗外のドイツ	鷗外	69 p17-48	2001	910. 28-450	
独・蘭・英から見た鷗外	鷗外	67 p100-140	2000	910. 28-450	
《対談》『舞姫』をめぐる	鷗外	63 p204-218	1998	910. 28-450	荻原雄一氏との対談
鷗外とイプセン,メーテルリンク	国文学 解釈と教材 の研究	43(1) p50-51	1998	Z9-31	
戯曲・翻訳劇	国文学 解釈と教材 の研究	43(1) p80-81	1998	Z9-31	
隠蔽する「語り」--森鷗外「舞姫」・「うたかたの記」	国文学 解釈と鑑賞	59(4) p65-70	1994	Z9-1	
視線の変容--鷗外「独逸日記」と「文づかひ」	文学(岩波書店)	2(3) p99-110	1991	Z9-101	
鷗外独逸日記新資料--ライプツィヒ時代の森鷗外--音楽会と婦人集会	国文学 解釈と教材 の研究	30(9) p160-163	1985	Z9-31	